

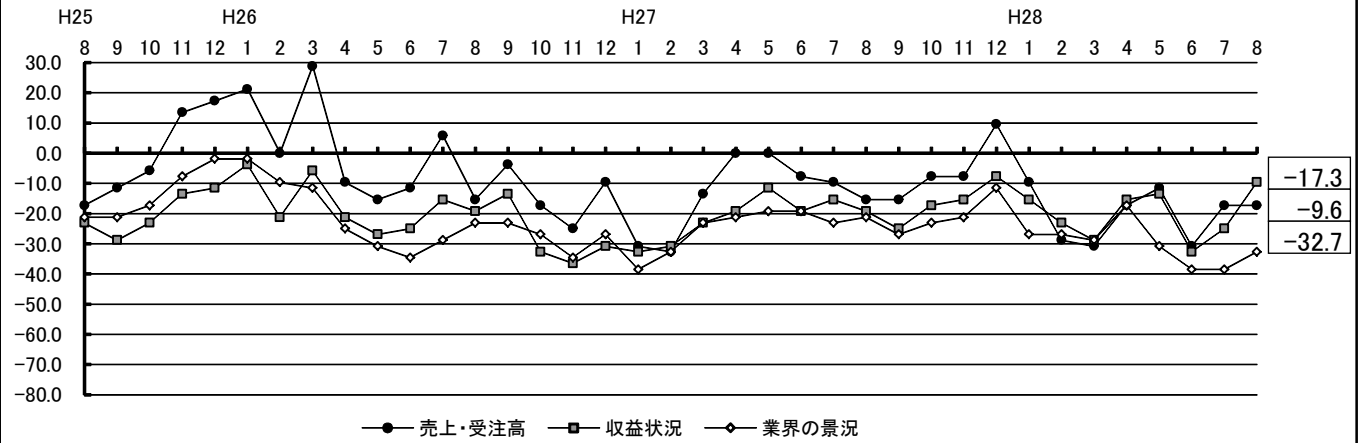
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年8月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 8月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の5指標が上昇し、「取引条件」が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月同様の-17.3ポイント、「収益状況」が15.4ポイント上昇の-9.6ポイント、「業界の景況」が5.8ポイント上昇の-32.7ポイントであった。
- 前月比で多くの指標の数値が改善もしくは同水準を維持している一方、「在庫数量」が改善しない、「設備操業度」が不安定などの懸念材料も存在し、先行きは依然不透明である。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-17.3	±0.0	-26.1	+1.6
収益状況	-9.6	+15.4	-25.4	+0.2
業界の景況	-32.7	+5.8	-30.0	+0.5

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月同様の-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より1.6ポイント上昇の-26.1ポイントとなった。

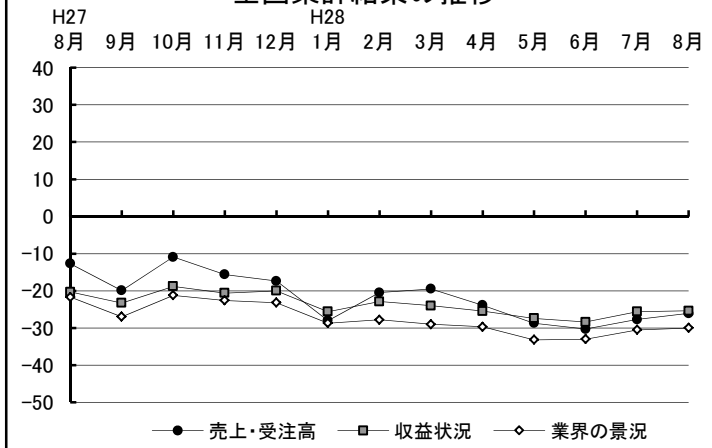
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より15.4ポイント上昇の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より0.2ポイント上昇の-25.4ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.8ポイント上昇の-32.7ポイントとなった。全国においては、前月より0.5ポイント上昇の-30.0ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

8月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「収益」「資金」「設備」「雇用」「景況」の5指標が上昇し、「条件」が低下した。主要3指標は、「売上」が前月同様の-17.3ポイント、「収益」が15.4ポイント上昇の-9.6ポイント、「業界の景況」が前月より5.8ポイント上昇の-32.7ポイントであった。9指標中「収益」「設備」が10ポイントを超えて上昇し、「売上」「在庫」「価格」は前月と同水準を維持している。6月DI値を底として、多くの数値に改善傾向がみられるものの、「設備」が安定しない、「在庫」が回復しないなどの不安材料も見られる。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇、2業種が低下した。「収益」は製造業で3業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で3業種が上昇した。「景況」は製造業で2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で2業種が上昇した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて9指標中7指標が上昇、2指標が低下した。予期せぬ大型台風と天候不順により、有効需要の減退（生活防衛志向の上昇）が加速し、農・水産品出入荷への悪影響も予想される。依然、景況感の下振れリスクが懸念されている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	×	△	△	△	△
繊維・同製品	△	×	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	△	△	△	○	△	○	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	△	×	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	△	△	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 △ 不変 × 減少・低下・悪化
 (DI値 +40ポイント以上) (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	0.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	-25.0
木材・木製品	25.0	-25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0
鉄鋼・金属	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-75.0	-25.0	-75.0	25.0	-75.0
製造業	-8.0	-28.0	-4.0	-4.0	-16.0	-4.0	-16.0	4.0	-36.0
卸売業	-33.3	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0		33.3	-33.3
小売業	-42.9	-28.6	14.3	-14.3	-14.3	-14.3		-14.3	-42.9
サービス業	-50.0		16.7	-16.7	0.0	-16.7		-16.7	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-25.9	-10.0	7.4	-11.1	-3.7	-7.4		-3.7	-29.6
全体	-17.3	-22.9	1.9	-7.7	-9.6	-5.8	-16.0	0.0	-32.7

図表3～【指標別DI値の推移】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
売上高	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	0.0
在庫数量	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	0.0
販売価格	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	0.0
取引条件	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-1.9
収益状況	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	15.4
資金繰り	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	3.8
設備操業度	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	12.0
雇用人員	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	1.9
業界の景況	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	5.8

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	50.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	50.0	25.0	50.0	-25.0	75.0	0.0	75.0	0.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	-25.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	8.0	0.0	4.0	-4.0	12.0	4.0	12.0	-4.0	0.0
卸売業	-66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	28.6	0.0	-14.3	0.0	42.9	28.6		0.0	28.6
サービス業	-50.0		0.0	0.0	0.0	-16.7		16.7	0.0
建設業	20.0		0.0	0.0	20.0	0.0		20.0	20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-7.4		0.0	-3.7	0.0	18.5		3.7	7.4
全体	0.0	0.0	0.0	-1.9	15.4	3.8	12.0	1.9	5.8

特記事項

情報連絡員報告（平成28年8月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	8月は台風の被害が各地であり、28年度産の米への影響が懸念される。
染色整理業	一部企業で夏期イベントに関する受注の増加あり。
外衣・シャツ製造業	今年は秋冬物のカットソー受注数が昨年の約半分になっている（昨年の売れ残りを優先するとのこと）。
外衣・シャツ製造業	悪い流れになってきている。
一般製材業	昨年比で加工坪数は15%増加した。休みの多い月としてはまずまずの数であったと思われる。 販売価格や取引条件等は、相手先が当組合員のため変化なし。9月の予定が順調であるよう期待している。
木材・木製品製造業	今月まで一般住宅向けの売上が少なかった。しかし、公共建築物の受注をいいタイミングで取れたため、今年度の売上を補うことができた。公共物の受注に力を入れていきたい。
建具製造業	この8月は特に受注状況が悪く、各組合員ともに苦戦を強いられたようだ。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
金属製品製造業	冷蔵庫・エアコンが天候不順のため減産調整に入った。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連企業…スバル関係企業は好調を継続している。特に売れ筋の車種を製造・加工している企業は極めて良好である。価格面では第二次、第三次下請は厳しい。 建設機械関連…受注ゼロの状態が続いており、各社当面建設機械製造を休止している。
一般機械器具製造業	受注量には変化がないものの、残業による賃金上昇と経常費の上昇（人件費、光熱水費、車両の燃料費）がある。緩やかではあるが、景況感に変化が現れていると思慮される。
一般機械器具製造業	本年8月は前年同月と比較すると、全般的に売上高等収益の悪化がやや目立つ状況となった。今後の業界の景気状況に懸念材料はあるが、好転を期待したい。
各種商品卸売業	全体的には、例年のことではあるが、8月は顧客からの商品需要が停滞しているとする企業が多かった。 来春新卒採用を予定している企業では、以前目途が立たず苦戦している。 海苔の製造・卸業者では、今年は異常気象による影響もあって海苔の生育が悪く不作で、海苔原料の仕入れ価格が昨年より約2割減少したため、販売先に対しコスト上昇分の販売価格への転嫁を交渉しているが、なかなか応じてもらえないのが現状。
食肉小売業	前年同月と比べ、売り上げの伸びはなく、お盆の休日が長かったことで売上に波があった。安価のものが動いたため物量は多いが、売上は伸びなかった。
各種商品小売業	衣料、百貨店、デパート、大型スーパーともに4~12%売り上げダウン。特に8月は土日祝日に台風などがあり落ちこんだ。小売業全体でも不況状態であるが、商店街には客足が少し戻ってきた様子で、期待している。

各種商品小売業	売上前年比は約1割の減少、客数に関してはそれ以上の落ち込みとなってしまった。相次ぐ台風の上陸により、消費マインドにも多少の影響を与えたか。また、近隣のアピタの閉鎖という更なるネガティブなニュースもあり、イメージの好転へ向けて、再度リーシングに力を注ぎ、フレッシュな印象を与えられるよう努力していきたい。
花・植木小売業	7月の下旬ごろから菊類は前進傾向での入荷となっていたが、高温などの影響で開花遅延に転じた産地が多くあり、8月に入ってから入荷がやや伸び悩んだ。しかし、お盆用の仕入れでは雨不足で品薄だった昨年と比べると10～15%入荷量が増え、相場は1割程度の単価安で推移したため安定した仕入れができた。お盆中は天候にも恵まれ、小売りは順調だったとの声が多く聞かれた。
理容業	真夏の猛暑の影響で、先月は来客数が増加し、売上也伸びたが、その反動及び盆休みなどの休日の多さが、若干売り上げにも反映されたようである。
自動車整備業	自動車整備業界では、若者の車離れによる影響などから人材不足が問題視されている。
ビルメンテナンス業	ほぼ前年並みで推移しているが、自治体からの委託業務が減っている分、やや売上高が減少している。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	相対的に8月の業況は前年度に比べて減少した。2度にわたる台風とオリンピックの影響が考えられる。加えて、従業員不足のため、思うように集客できない状況も見られた。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは511%増、敷物用ラベルは91%減、壁装用ラベルは10%増であった。本年4～8月累計では、前年比カーテン用ラベル65%減、敷物用ラベル32%減、壁装用ラベル10%増であった。ラベル支給（売上）金額前年同月比は41%減、累計52%減であった。4・5・6・7月の売上累計比較は7%と微増ではあるが回復している。
一般貨物自動車運送業	荷動きは全体的に低調に推移したが、稼働日数の影響によるところも大きいと思われる。燃料価格値下げとなり、好転した部分もあるが、ドライバー不足、貨物運送受注量減少など厳しい景況感である。
貨物軽自動車運送業	当月は前年同月比で建設関連貨物、自動車関連貨物が若干であるが伸びを示し、時節柄、飲料水や冷凍食品も堅調に推移した。しかし、全般的に景況感は一進一退である。相変わらず高齢化とドライバー不足は深刻化している。
一般乗用旅客自動車運送業	本来、暑い時期にはタクシー利用が多いが、今年は昼夜ともに減少している。
大谷石採石業	毎年2月、8月は売上が減少するが、前年同月比ではほぼ同じレベルだった。